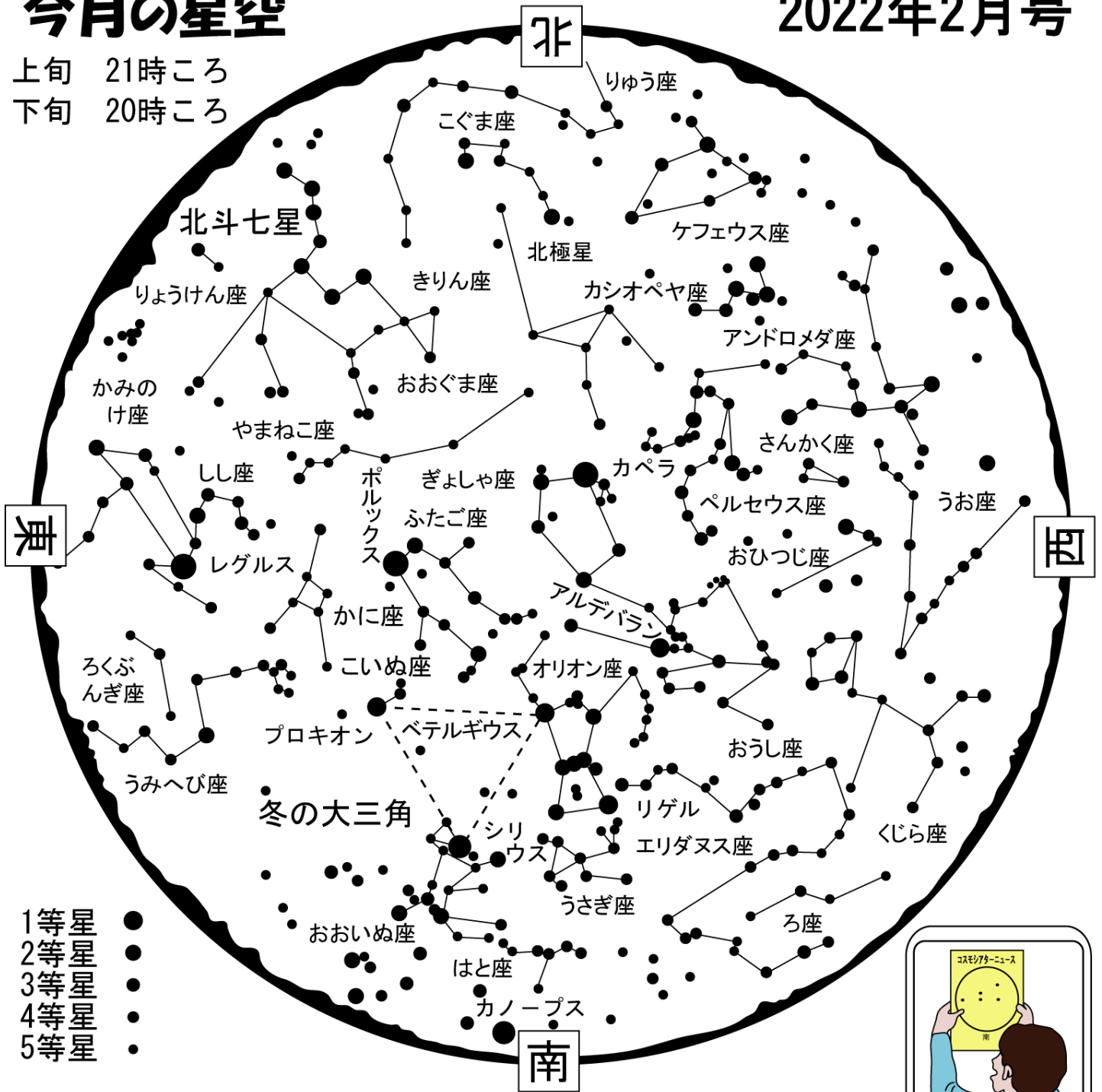


コスモシアターニュース

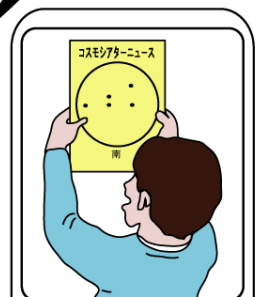
今月の星空

2022年2月号

上旬 21時ころ
下旬 20時ころ



- 1等星 ●
- 2等星 ●
- 3等星 ●
- 4等星 ●
- 5等星 ●



自分の向いている方向を下にして、見てください

水星：中旬の明け方、南東のたいへん低い空に見えます。明るさは0等星です。
金星：明け方、南東の低い空に見えます。明るさは-4.5等星です。27日に月と並んで輝きます。
火星：明け方、南東の低い空に見えます。明るさは1.5等星です。金星の近くに見えます。
木星：上旬の夕方、南西の低い空に見えます。明るさは-2等星です。3日に月と並んで輝きます。
土星：見かけ上太陽に近く、見つけるのは難しいでしょう。

今月の月の満ち欠け

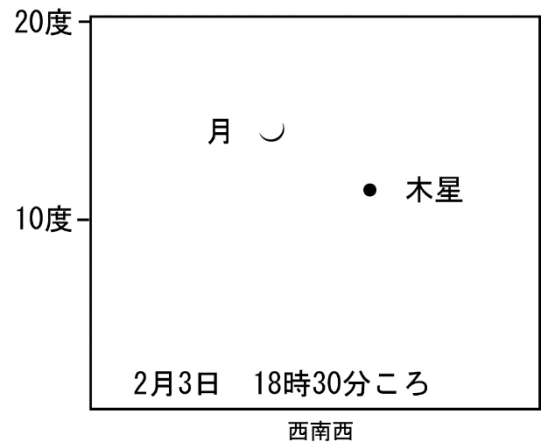
新月：1日(火) 上弦：8日(火) 満月：17日(木) 下弦：24日(木)

3日(木)、南西の空で、月と木星が並んで輝く

3日(木)の18時30分ころ、月と木星が並んで輝きます。木星は大変明るい星ですので、肉眼で簡単に見つかるでしょう。ただし、高さが低いので、南西方向に障害物がないところでご覧ください。見やすい時間は、18時30分前後がいいでしょう。

なお、前日の2日(水)は、木星の真下に月が見えるかもしれません。ただし、月の高さが大変低くなります。また、翌日の4日(金)は、木星の左上に月が移動し、かなり離れていきます。よってこの接近は、3日限りと思ってご覧ください。

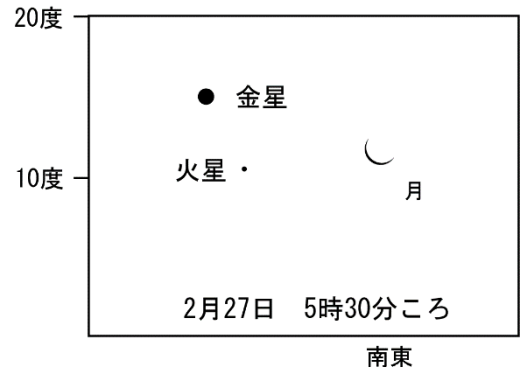
木星は、2月中旬になると沈む時刻が早くなり、観察するのが難しくなります。そして、3月になると太陽とほぼ同じ方向に移動し、見えなくなっていきます。このため、今回の接近を逃すと、しばらく見えなくなりますので、見逃さないようにしてください。



27日(日)、明け方、南東の空で、月と金星並んで輝く

27日(日)の明け方、午前5時30分ころ、南東の低い空に金星が見えています。この金星のすぐ右下に、細い月が輝き、大変美しい眺めとなります。なお、金星のすぐ下に火星が輝いています。金星に比べかなり暗いのですが、天気良ければ、見つけることができるかもしれません。

月と金星の姿は、肉眼で見ることができ、気軽に楽しむことができます。また、双眼鏡があれば、より詳しく見ることができます。



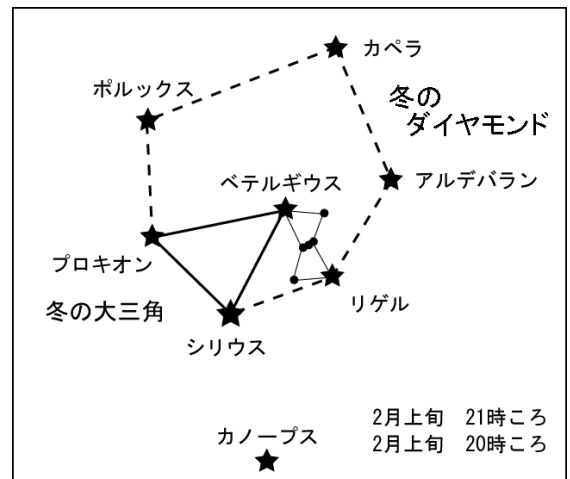
★冬の明るい星を見よう

冬の夜空は、右のように冬の大三角や冬のダイヤモンドといった分かりやすい星の並びがあります。これらの中で、最も明るいのはシリウスです。プロキオンも明るく、冬の大三角は大変目立つ存在となるはずですが、20時ころではまだ高さが低く、南の空高く見えるのは、夜遅くになります。

冬のダイヤモンドは冬の六角とも呼ばれ、大変大きく広がっています。また、カペラは頭の真上を越してやや北の空よりに、ポルックスはほぼ頭の真上になります。

右の図は、南の空を眺めたときの星空で、上が北、右が西、左が東となっています。

ところで、天気がたいへんいい時に限って、カノープスが見えることがあります。ただし、見える時間が短いと、高さが低いので、なかなか見ることができません。このため、見えるといいことが起こる、長生きができる星ともいわれています。地平線付近まで晴れたときに、南側の山が見るような見晴らしがよいところで探してみてください。



★冬の明るい星の名前

冬の明るい星は、古くから注目され、日本でも特別な名前をつけて読んでいました。ぜひ明るさ比べとともに、色の違いなども観察してください

星の名前	星の色	明るさ	星座	日本での固有名 呼び方の理由
シリウス	青白	-1.46 等星	おおいぬ	青星(あおぼし) 青く見えるため
カノープス	白	-0.72 等星	りゅうこつ	おうちやくぼし 少ししか空に見えないので
カペラ	黄色	0.08 等星	ぎよしゃ	虹星(にじぼし) 低い時にいろいろな色に見えるため
リゲル	青白	0.12 等星	オリオン	源氏星(げんじぼし) 源氏の白旗の色に見えるため
プロキオン	白	0.38 等星	こいぬ	いろしろ ずばり、白く見えるため
ベテルギウス	赤色	0.5 等(変)	オリオン	平家星(へいけぼし) 平家の赤旗の色に見えるため
アルデバラン	オレンジ	0.85 等星	おうし	すばるのあとと星 すばるのあとに昇ってくるため
ポルックス	オレンジ	1.14 等星	ふたご	金星(きんぼし) 金色に輝いて見えるため
カストル	白	1.58 等星	ふたご	銀星(ぎんぼし) 銀色に輝いて見えるため

※明るさは、数が少ないほど明るくなります。また、ベテルギウスの明るさの(変)は、明るさが変わる変光星(へんこうせい)という意味です。カノープスは、高度が低く、大気の影響で赤く、暗く見えます。